



稲高だより

静岡県立稲取高等学校

令和6年4月22日

第1号（通算165号）

まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

令和6年度 入学式

4月9日（火）、入学式が挙行されました。

令和6年度 校長式辞

〈略〉稲取高校は、大正8年、稲取村立稲取実業補習学校として創立された伝統校とありますが、それ以前の明治後半、地元の先覚者である田村又吉翁が、ミカン栽培と天草採取の産業を根づかせ、稲取が日本を代表する明治の三大模範村の一つに数えられるまでに発展させました。その際に田村又吉翁は、青年の勉学の場として、報徳夜学校を創設したのが、本校の母体であります。今や1万2千人を超える卒業生が本校を巣立ち、地元の伊豆を中心に国内外で活躍しております。その土台は、夜学校であるため、暗いランプの灯りの下で、向学心に燃えた青年たちの熱き思いから築かれたことを、心に留めておくべきです。



さて、稲高生となった皆さんに、本校の校訓である

「誠」（まこと）、「愛」（いっくしみ）、「力」（つとめる）についてお話しておきたいと思えます。一つ目の言葉は「まこと」は誠実の誠と書きますが、私利私欲を交えず、真心をもって人や物事に接することを意味します。

二つ目の言葉は愛という字を書いて「いっくしみ」と読みます。これは人への思いやりということです。昨今問題となるSNSによる誹謗中傷等は、他人への思いやりを欠き、人を大切にするという人としてのマナーを欠いたものです。高校時代のかけがえのない3年間を充実して過ごすには人を思いやる心が基盤となります。

三つ目は力という字を書いて「つとめる」と読みます。これは何事に対しても真摯な態度で誠心誠意取り組む、という意味が込められています。高校での授業や部活動、生徒会活動においてひたむきに粘り強く取り組む姿勢であると思えます。以上3つの言葉を胸に刻み、これからの稲取高校での生活を通して、人として一回りも二回りも成長してくれることを願っております。

今の皆さんの心境は、期待と不安が混じった状態ではないかと察します。その中で、なぜ稲高に入ったのか、この稲取高校に入って何をしたいのかという明確な目的意識を再確認してほしいと思えます。同じ時間、同じ勉強をした場合でも意識がしっかりしているかないかで行動が変わります。大学に進学するために高度な勉強をしてみたい、部活動で全国大会に出場してみたい、地域のことを知り、地域貢献してみたい。いくつかの希望や夢を改めて設定し、挑戦することです。失敗を恐れずまずは行動に移すことが大切です。

今までの自分の良いところは伸ばし、臆病にならずにチャレンジ精神旺盛にして充実した高校生活を送ってほしいと思えます。〈略〉

新入生代表 党 慧明さん（13HR 稲取中出身）「入学式を終えて」

気が付けば入学して一週間が経ち、高校生活もどんどん慣れてきました。この一週間で部活動の紹介を聞いたり、見学に行く中、先輩たち、先生たちと話をすることが多くあり、優しさを感じました。入学したばかりの私たちの不安と緊張を解消してくれました。これから通常日課に入り、困ることがあるかもしれませんが、毎日を充実して過ごせるように、勉強と部活動に全力で取り組んでいきたいと思えます。



令和6年度 始業式・新着任式

4月8日（月）、令和6年度始業式と新任式が行われました。校長先生からは、アメリカ合衆国の哲学者・心理学者のウィリアム・ジェームズの言葉と言われる「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」というお話がありました。この言葉は多くの成功者たちが大事にしている言葉です。

新しい環境に飛び込んだり、新しい挑戦をしたりすることは勇気が必要です。しかし、勇気を出して踏み出したその一歩が、その少しの変化が、これからの自分を創ります。新年度の目標を掲げ、その目標達成のため、毎日を有意義に過ごしましょう。

4月から新しくいらっしゃった先生方から、一言を頂きました。

1 教科 2 好きな〇〇は〇〇です 3 どのような高校生でしたか 4 稲高生に一言

飯田多賀乃先生



- 1 国語科
- 2 好きなテレビ番組はびじゅチューンです。
- 3 苦手な数学や理科と格闘していました。
- 4 高校生の間に熱中できることを探してとことんやってみてください。

松久保仁志先生



- 1 地歴公民科
- 2 好きな女優は綾瀬はるかです。好きなスポーツは野球です。
- 3 ごく普通のまじめな高校生（野球部に所属していました。学校生活でも顧問の先生の目があったのでとにかく真面目に生活していました。）
- 4 皆さんとの学校生活を楽しみにしています。



森本愛斗先生

- 1 数学科
- 2 好きなスポーツはバスケ、テニス、ゴルフです。
- 3 高校時代、塾行く前に駄菓子屋でお菓子を食べるのが一番の楽しみでした！
- 4 長いようであっという間の3年間です。卒業後、やり切ったと思える高校生活にしてください。



松山睦先生

- 1 家庭科
- 2 好きなYouTubeはもちまる日記です！
- 3 部活動を一生懸命やっていました。
- 4 これからよろしくお願いします！



稲葉小百合さん

- 1 事務室
- 2 好きなスポーツはフィギュアスケート（観戦）です。
- 3 吹奏楽部に青春を捧げた時期もありました。
- 4 気軽に声をかけてもらえると嬉しいです。

令和6年度 各学年主任の先生より

1年学年主任 齋藤伸吾先生（商業・情報科）

皆さんに求めることは学校生活を通じて自分自身の心を育てて欲しいということです。自分の事ばかり優先するのではなく、周りの人へも気を配り行動することできる。思いやりの心を持った人へ成長していくことを期待しています！！

2年学年主任 田力秋洋先生（数学科）

人はやっぱり、苦勞を経験して成長する。謝罪会見できちんと謝れない人のように、歳は取っていても考え方が若い人を見ると、これまでは苦勞してこなかったんだなーと感じる。若いうちの苦勞は買ってでもしろ。高校生ならまず勉強と部活だ。しかもタダだ。楽しいだけでなく、苦しい高校生活を送るべし。そんな訳で2年生の学年目標は「〇〇を鍛える」です。

3年学年主任 鳥澤祐一先生（保健体育科）

1年生の目標は「大地に大きな根を張ろう」、2年生の目標は「幹を太くし、空に枝葉を広げよう」でした。丈夫な根を広げて経験や刺激を吸収し、どんな逆境にも負けないメンタルと体、そしてアンテナを広げて外の世界の情報を手に入れた皆さん。3年生となった今年の目標は、「開花・結実」です。いよいよ、花を開き実を結ぶ時が来ました。部活動など、今まで取り組んできたことに結果を残すこと。進路実現など、将来の夢を叶える一歩を踏み出すこと。社会に出るための準備を完了させるということを含めて、3年生としてやるべきことはたくさんあります。ですが、残された高校生活もあと1年。どの瞬間も戻ってはこない貴重な時間として、仲間とともに過ごしていきましょう。私たちも同じチームの一員として、皆さんのサポートに全力を尽くします！



◀入学式の様子